

スペイン語の所有・存在表現

高垣 敏博

はじめに

スペイン語の所有動詞は英語の *to have* に似た *tener* 「もつ」である(衣類を身に付けて「もっている」ような場合には *llevar* を使う: *llevar unas gafas* 「メガネをかけている」(アンケート例文番号13参照), 以下文末の() の番号はアンケート番号を指す)。

[1]a. *Tiene {un perro / veinte años / hambre}* .

(He) has {a dog / 20 years / hunger} .

彼は {犬を飼っている / 20歳だ / 空腹だ} .

b. *La bebida tiene alcohol.* (17)

The drink has alcohol

その飲み物にはアルコールが含まれる

多くの言語と同じく, 所有関係は, コピュラ動詞 *estar*(スペイン語のコピュラ動詞として教科書的には「主語と属詞の恒常的關係を表す」*ser* と「一時的關係および存在を表す」*estar* の2種類が使い分けられる¹⁾と所有(付随)を表す前置詞 *con* (=with)に導かれる句の組み合わせとして[2]のように言い換え可能な場合がある。

[2]a. *Tiene fiebre. / Está con fiebre.* (11)

(He) has fever / (He) is with fever

彼は熱がある

b. *La mujer tiene tres hijos. / *La mujer está con tres hijos.* (15)

The woman has three children / The woman is with three children

その女性には3人子供がいる

ただし[2b]からわかるように, *estar* による表現は常に可能であるとは限らない。制限を詳細に調べていく必要があるだろう。

また, 「属性, 特性」を表す前置詞「*de*」を用いる表現も可能である。<コピュラ動詞 *ser* + *de* + 名詞>, あるいは<名詞 + *de* + 名詞>の形式で用いられる。

[3]a. *Es de buena suerte [=Tiene suerte.]* (22)

(He) is of good luck (He) has luck

彼は運に恵まれている

1 スペイン語の繫辞動詞(コピュラ動詞) *ser* と *estar* については先行研究が多いが Marín (2004) の第2章で Gili Gaya (1961), Luján (1980, 1981), Clements (1988), Carlson (1977), などが紹介されている。それぞれ「永続性/一時性」, "individual level / stage level" (Carlson), “非有界性 no-acotado / 有界性 acotado” (Marín) などの対立で捉えられる。

b. Es una persona de gran talento. (10)

(He) is a person of great talent

彼は才能豊かな人だ

この **de** は英語の **of**, 日本語の「の」に類似し, 多様な意味関係を成立させる前置詞で, その目的語の名詞が表す意味を属性として「所有する」ことを表わす. そこで, [4]のように **con** と **de** が使い分けられる.

[4]a. Es un hombre con dinero.

(He) is a man with money

彼はお金をもっている

b. Es un hombre de dinero.

(He) is a man of money

彼は裕福な人だ

この2つの例で, **con** の場合は現実, いま, お金をもっている状況に力点が, また **de** が用いられると裕福という属性をもつ人として理解される. したがって概ね後者は **un hombre rico** 「裕福な人」の形容詞 **rico** 「金持ちの」に近い意味を獲得するものと考えられる. 同様に, [3a]がそもそも運に恵まれた人の属性を表すのに対し, 所有, 随伴の意味が明瞭である **con** に代えると, つぎの[5]のようにいま幸運が向いてきているさまを述べることになる.

[5] Está con buena suerte.

(He) is with good luck

彼には運が向いてきた

以下のアンケート項目の半分はそれぞれ名詞句表現である. 前の主要部(被修飾名詞)に補足部の名詞なり形容詞が後置されるのがスペイン語の一般的語順である. 連体修飾の **con** または **de** による前置詞句の二者の使い分けが中心のテーマとなる. 意味の差もすでに述べたとおりである. すなわち, **con** は「所有・付随」, **de** が用いられると「属性・特性」の所有という意味が対比される.

[6]a. un hombre {de / con} gafas (13)

a man {of / with} glasses

メガネ {の / をかけた} 男

b. un hombre {de / *con} la barba (3)

a man {of / with} the beard

ヒゲ {の / をつけた} 男

(a)のメガネの場合は **de** でメガネを特徴とする男, **con** ではメガネをかけている男という対比になるが, (b)ではヒゲを男の特徴として取り上げることは可能であっても, ヒゲを付けている男というのは, それがつけヒゲでない限り意味をなさない.

さてスペイン語の存在文は<hay+不定名詞句>によるもの (英語の *there is (are)...* 構文に相当)と、コンピュータの *estar* を用いる方法が典型的である。 *estar* では特定名詞句を主語とする。

[7]a. *Hay una cuchara en la mesa.* (25)

There is a spoon on the table

テーブルにはスプーンが一つある

b. *La cuchara está en la mesa.* (26)

The spoon is on the table

そのスプーンはテーブルにある

存在文は[8]のように所有文とのつながりが見られるが、つねにこのような関係が成り立つわけではない。

[8]a. *En la habitación hay tres sillas.*

In the room there are three chairs

部屋にはイスが3脚ある

b. *La habitación tiene tres sillas.*

The room has three chairs

部屋にはイスが3脚ある

アンケート

以下ではこのような「所有・存在表現」がどのように使われるのか、アンケートの例文で確認していくことにしよう。

まず、(1)~(4)は身体部位の所有をめぐる表現である。

(1)a. あの人(女性)は青い目をしている

*Esa chica tiene los ojos azules.*²

That girl has the eyes blue

スペイン語の所有を表す動詞は *tener* で、*tiene* は3人称単数形。スペイン語は品質形容詞は名詞に後置されるので *los ojos azules* の語順になっている。

b. 青い目の人・目が青い人

*la chica {de / *con} los ojos azules*

the girl {of / with} the eyes blue

被所有物が連体修飾する場合である。前置詞の *de* (= *of*) で名詞を修飾し、「青い目」がその女性の属性として述べることはできるが、本来所有の意味をもつ前置詞 *con* (= *with*)

²本論の作例はすべて本学教員 Concha Moreno 氏のチェックを受けたものである。母語話者によっては判断が異なる可能性があるが、より詳細な調査は今後の課題となる。

では修飾できない。譲渡不可(inalienable)の身体部位をあえて「伴う」とする表現が許容されないであろう。

- (2)a. あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている

Esa chica tiene el pelo largo.

That girl has the hair long

名詞と形容詞の語順を変え?Esa chica tiene largo el pelo.にすると「髪の毛は長い、睫(las pestañas)はそうではない」(Tengo largo el pelo, pero no las pestañas.)のような対比的用法として理解されるため、単独では不自然になる。

また、「あの女の髪は長い」と日本語から直訳したつぎの文は不自然であるという。

??El pelo de esa chica es largo

The hair of that girl is long

- b. 長い髪の女・髪の長い女

la chica {del / ??con el} pelo largo

the girl {of / with} the hair long

この場合も **de** で属性として表わす場合は問題ない。前置詞 **con** では(1b)の「目」に比べると比較的許容されやすい。これは「髪」は身体部位として完全に譲渡不可ではないためと言えるのだろう。

- (3)a. あの人には髭がある。

Ese hombre tiene barba

That man has beard

は問題ない。

- b. 髭の男

el hombre {de / ??con} la barba

the man of / with (the) beard

(b)ではここでも **con** は不自然。属性を表すのではなく、「髭を付けた」という意味合いが出てしまうであろう。

- (4)a. あの人には(見る)目がある

Él tiene ojo para ver

He has eye to see

比喩的な「目」である。スペイン語でも「ひとを見る目がある」(“ver lo mejor de las personas”)の意味で「目」をもつと言える(ただし、冠詞を伴わず抽象化して用いられている)。また文字通り **vista** 「視力、洞察力」を用いて **Él tiene vista** (he has eyesight)と

表現することも可能.

b. 見る目のある人

una persona con {ojo / vista}

a person with {eye / eyesight}

*una persona de vista

a person of eyesight

この場合はこれまでと違い, con を用い, de では容認されない. 名詞 ojo, vista が属性とは認定されないのかもしれない.

以下(5)から(13)までは所有対象がさまざまな属性の場合である. 属性を形容詞で表わすか, 所有表現にするか, あるいは de, con などによる前置詞句を用いるかの使い分けが考慮される.

(5)a. あの人 は 22 歳だ

Él tiene 22 años

He has 22 years

スペイン語では年齢表現には所有の動詞 tener を用いる (英語のように ser = "to be" は用いない).

b. 22 歳の人

una persona {de / con} 22 años

a person {of / with} 22 years

前置詞の de も con も可能であるが, de (= of) は年齢を単純に属性として述べるのに対し, con (= with) では「齢を重ねた」という意味になるという.

(6)a. あの人 は優しい性格だ.

Es {dulce / cariñoso / suave / tierno}

(He) is sweet...

このように ser (=to be) と形容詞の組み合わせが普通の表現である. 日本語に合わせて「性格」(carácter) という名詞を明示的に用いると所有の動詞 tener が使われる.

Tiene un carácter {dulce / cariñoso / suave / tierno}

(He) has a character sweet...

b. 優しい性格の人

名詞修飾でも形容詞を用いるほか, 「優しい性格の人」(de carácter ...) の表現も可能.

この場合は「~の性格をもつ」人と属性の所有で前置詞は de になる.

una persona de carácter {dulce / cariñoso / suave / tierno}

a person of character sweet...

(7)a.あの人には背が高い

「高い背丈という属性をもつ」のように「背丈」を所有ないしは **de** による属性表現にすることは不可。

{***Tiene** / ***Es de**} **estatura alta**.

(He) {has / is of} height tall

形容詞 **alto** 「高い」を叙述的に用いるのが一般的である。

Es alto.

(He) is tall

さらに **alto** に「背丈の点で」のような意味の限定句 **de estatura** を付加し、より明示化することも可能である。

Es alto de estatura.

(He) is tall of height (in height)

b. 背の高い人

名詞修飾でも(a)と同じ関係が見られる。

una persona alta

a person tall

una persona alta de estatura

a person tall of height

***una persona** {**de** / **con**} **estatura alta**

a person {of / with} height tall

(8)あの人には背が 190 センチもある。

スペイン語では身長はコピュラ動詞の **ser** ではなく所有の動詞 **tener** とともに用いる。

Tiene no menos que 190 centímetros de estatura.

(He) has no less than 190 centimeters of height

また、「測る」の意味の動詞 **medir** (=measure)を用いることもできる。

Mide no menos que 190 centímetros.

(He) measures no less than 190 centimeters

しかし、(7a)で見たように背丈 **estatura** を「高さの点で」のように後置して明示化することは許容されない。

***Tiene 190 centímetros de estatura**.

(He) has 190 centimeters of height

(9)a.その石は四角い形をしている。

「四角い」という属性を表すのであるが、形容詞が一般的。

La piedra es cuadrada.

The stone is square

また、「形」(forma)という名詞+形容詞の組み合わせも可能で、所有の動詞 tener を用いる。

La piedra tiene forma cuadrada.

The stone has form square

<ser + de +形容詞>の結合は文法的な構成ではあるもののやや不自然であるとの母語話者の判断が見られる。

?La piedra es de forma cuadrada.

The stone is of form square

b. 四角い (形の) 石

una piedra cuadrada

a stone square

?una piedra de forma cuadrada

a stone of form square

名詞修飾の場合も(a)と同じく de forma を用いるとやや不自然になるという。そもそも cuadrado という形容詞が四角い形状を表すので余剰的になるということだろうか。

(10)a. あの人には才能がある。

文字通り「才能 talento をもつ」と「有能な talentoso」という形容詞を用いる表現が可能。しかし後者は(少なくともスペインでは)一般的ではないという。

Tiene talento

(He) has talent.

Es talentoso.

(He) is talented.

属詞の名詞を「de+名詞」修飾の方法は可能であるが、コピュラ動詞 ser に直接 de talento だけを従えることはできない。

Es una persona de gran talento.

(He) is a person of great talent

*Es de talento.

(He) is of talent

b. 才能のある人

前置詞 de, con とともに可能であるが、ここでも de は属性, con は付加された特性, すなわち獲得された特技などについて述べていると考えられる。

una persona {de / con} talento

a person {of / with } talent

(11)a. あの人は病気だ.

この場合は形容詞 **enfermo** 「病気の」のみ可能. ただし, 形容詞は状態的意味を表すので, コピュラ動詞は **ser** ではなく, **estar** を用いる.

Está enfermo.

(He) is sick.

名詞の **enfermedad** 「病気」を用いると容認されない.

***Tiene enfermedad.**

(He) has sickness

***Está con enfermedad.**

(He) is with sickness

b. あの人は熱がある.

ところが「熱」(**fiebre**)では, **con** による所有表現が可能になる.

Tiene fiebre.

(He) has fever.

Está con fiebre.

(He) is with fever.

後者の表現が次第に用いられるようになってきているとの証言がある.

c. 病気の人

una pesrona enferma

a person sick

***una persona con enfermedad**

a person with sickness

この場合も形容詞による表現のみが許容される.

(12)a. あの人は青い服を着ている

Lleva un vestido azul.

(He) wears a suit blue.

{**Tiene / Lleva**} **puesto un vestido azul**

(He) {has / wears} on a suit blue

??**Está con un vestido azul.**

(He) is with a suit blue.

Está vestido { *de / ??con } un vestido azul

(He) is dressed {of / with} a suit blule

一般的には「身に付ける」意味の動詞 *llevar* を用いる。 *tener* を用いる場合には「身に付けた状態で」の意味の過去分詞 *puesto* (< *poner*) を補う必要がある。 *tener* だけでは所有しか表わさないからであろう。最後の2文のようにコピュラ動詞 *estar* と所有の前置詞 *de*, *con* の組み合わせはどちらも容認されない。

b. 青い服の男

un hombre de azul

a man of blue

このように色 *azul* のみ従える場合は *de* である。「着ている」 *vestido* (=dressed) が名詞を修飾する場合には *en*, *de* が用いられる。

un hombre vestido {en / de / *con} azul

a man dressed {in / of / with} blue

(13)a. あの人はメガネをかけている。

Lleva unas gafas.

(He) wears some glasses

{Lleva / Tiene} **puestas unas gafas**

(He) {wears / has} on some glasses

「身につけている」意味の *llevar* が用いられる。 *tener* では過去分詞 *puesto* が補われる。

b. メガネの男

un hombre {de / con} gafas³

a man {of / with} glasses

con は「付けている」。 *de* を用いると特徴づけの意味（「メガネの男」）が強くなる。

以下(14)(15)は所有される対象が人の場合である。

(14)a. あの人には妻がいる。

Está casado.

(He) is married.

Tiene mujer.

(He) has wife.

「既婚の」の意味の形容詞 *casado* か、所有の動詞 *tener* を用いる。後者では「妻という存在」と抽象化するため *mujer* 「妻」は無冠詞になる。

³ *Un hombre de *unas* gafas のようにメガネに複数の不定冠詞を添えると非文になる。また、定冠詞でも容認されない。 *un hombre {de / con} *las* gafas (a man {of / with} the glasses)

b. 既婚の人・妻のいる人

un hombre casado

a man married

のように形容詞を用いるのが一般的.

un hombre con mujer y niños

a man with wife and children

***un hombre con mujer**⁴

a man with wife

con 前置詞句「妻子がある」のように「子供」と組み合わせて用いると自然になるが、「妻」単独では不自然になるという.

(15)a. あの人には3人子供がいる

La mujer tiene tres hijos.

The woman has three children

***La mujer está con tres hijos.**

The woman is with three children

ここでも所有の **tener** が用いられる. **con** 句は不可である.

b. 3人の子持ちの人

??**la mujer con tres hijos.**

the women with three children

con を用いると不自然になる. この場合「女」(la mujer)を先行詞とする関係節を用いるべきであるという.

la mujer que tiene tres hijos

the woman who has three children

c. あの人の3人の子供

los tres hijos de la mujer

the three children of the woman

d. 妊娠している女性

una mujer embarazada

a woman pregnant

以下各種の所有表現が見られる.

⁴ *Un hombre con una mujer puede ser feliz o desgraciado.*(a man with a wife can be happy or unhappy) 「女房をもつ男は幸せであるかもしれないが不幸かもしれない」のようによく文脈を整えると用いることができるようになるという.

(16) タコには足が 8 本ある

{Un / El} pulpo tiene ocho tentáculos

{A / the} octopus has eight tentacles

{*Un / *El} pulpo está con ocho tentáculos

{A / the} octopus is with eight tentacles.

所有の tener を用いる。"estar + con"を用いると分離したもの（一旦切断した足）を改めて付けてあるような意味合いになってしまう。

(17)a. その飲み物にはアルコールが入っている。

La bebida {tiene / lleva} alcohol.

The drink has alcohol

En la bebida hay alcohol.

In the drink there is alcohol

含有するの意味で動詞 tener, llevar を用いる。

b. アルコール入りの飲み物

una bebida alcohólica

a drink alcoholic

形容詞を用いる。alcohol という名詞を使うのであれば前置詞 con が用いられる。

una bebida {con / *de} alcohol

a drink {with / of} alcohol

(18)a. あの人はお金を持っている。

お金(dinero)を tener の目的語にするか、形容詞「金持ちの」(rico)を用いる。

Tiene dinero.

(He) has money

Es rico.

(He) is rich

b. お金持ちの人

una persona rica

a person rich

前置詞句では con, de の両方が可能である。con は現実にもっている人、de はお金がその人の属性ともいえる「金持ちの」の意味で、形容詞 rico に接近する。

una persona {con / de} dinero

a person {with / of} money

(19)a. おまえのところには犬がいるか？

tener を用いる方法と、不特定なものの存在を表す hay による表現が可能である。

¿Tienes {perro / un perro / perros} en casa?

Do you have {dog / a dog / dogs} at home?

¿Hay {perro / un perro / perros} en (tu) casa?

Is there {dog / a dog / dogs} at home

「犬」は無冠詞(「猫ではなく犬というペット」のように種の意味合い)、あるいは総称の意味で un perro もしくは複数形 perros などが可能。

b. 犬のいる人

名詞句では前置詞 con が用いられる。

una persona con {perro / un perro} ⁵

a person with {dog / a dog}

(20)a. おまえは(自分の)ペンを持っているか？

¿Tienes {pluma / una pluma / tu pluma} ?

Do you have {pen / a pen / your pen} ?

tener を用いる。目的語の pluma は無冠詞(「ペンのような書くもの」の意)、不定冠詞、あるいは所有詞を伴う。

b. ペンを持っている人

una persona con pluma

a person with pen

前置詞 con で所有を表す。無冠詞が普通であるが、つぎのように不定冠詞をつけると 1 本が強調されるためか例えば絵画の題名のような印象を受けるという。

“Una persona con una pluma escribiendo”

a person with a pen writing

「ペンで書きものをしている人」(絵に添えられたタイトル)

(21) あの人(誰か別の人の)ペンを持っている。

(20)に対しこれは他の人のペンをたまたま持っているという例。しかし、同じく tener を用いるものの無冠詞ではなく、所有詞 su、や「他の誰かの一本のペン」のように修飾が必要になる。

Ella tiene su pluma.

(She) has her pen

⁵ *una persona de {perro / un perro} 前置詞 de を用いると容認されない。

Ella tiene una pluma de otra persona.

(She) has a pen of another person

(22)a. あの人は運がいい.

suerte 「運」が抽象名詞の例であるが、慣用で **tener suerte** 「ついている」のように用いる.

Tiene suerte.

(He) has good luck

tener buena suerte (good luck) 「幸運である」 / **tener mala suerte(bad luck)** 「不運である」と使いわけが、形容詞を伴わない場合は幸運を含意する. つぎのように前置詞句を用いる方法はともに容認されない.

***Está con buena suerte.**

(He) is with good luck

***Es de buena suerte.**

(He) is of good luck

「幸運な」という形容詞を用いることもできる.

Es afortunado.

(He) is fortunate

b. 幸運な人

ところが名詞句では、形容詞でも前置詞句を伴う表現でもともに自然であるという. 前置詞句の場合はここでも、**con** であれば「ついている」人、**de** ならば本来的に「運に恵まれた」人というような対比ができる.

una persona afortunada

a person fortunate

una persona {con / de} buena suerte

a person {with / of} good luck

以下(23)からは存在文である.

(23)a. ここは石が多い.

不特定な人・物の存在は **hay** で表わす.

Aquí hay muchas piedras

Here are many stones

b. 石の多い土地

前置詞句による連体表現は **con, de** ともに自然である. 前置詞による意味の差はこれまでと同様後者の方が属性を表すと考えられる.

un lugar {con / de} muchas piedaras

a place {with / of} many stones

(24)a. その部屋には椅子が3つある.

存在の動詞 hay を用いる方が自然であるが、部屋を主語にして tener を用いることも可能である.

En la habitación hay tres sillas.

In the room there are three chairs

La habitación tiene tres sillas.

The room has three chairs

b. 3つ椅子のある部屋

前置詞 con を用いる.

una (la) habitación con tres sillas

a (the) room with three chairs

関係節による表現も可能である.

una (la) habitación donde hay tres sillas

a (the) room where there are three chairs

(25)a. テーブルの上にスプーンがある.

典型的な不特定事物の存在表現で hay が適切である.

Hay una cuchara (cucharas) en (sobre) la mesa

There is (are) a spoon (spoons) on the table

b. スプーンのあるテーブル

連体表現は前置詞句 con では不自然で、関係節が適切である.

??la mesa con una cuchara (cucharas)

the table with a spoon (spoons)

la mesa donde hay una cuchara (cucharas)

the table where there is (are) a spoon (spoons)

またテーブルを所有者にする表現はスペイン語らしくない.

??la mesa que tiene una cuchara (cucharas)

the table that has a spoon (spoons)

(24)では3つの椅子が部屋の備品のような関係になっているが、(25)の例ではテーブルとスプーンが偶然的関係にあることが違いを生みだしているのだろうか.

(26)a. そのスプーンはテーブルの上にある.

特定な人・物の存在は hay ではなく, コピュラ動詞 estar を用いる.

La cuchara está en (sobre) la mesa.

The spoon is on the table

b. テーブルにあるスプーン

場所前置詞句を連体修飾に用いることはスペイン語では不自然で⁶, 関係節で説明的に表わすことになる.

??la cuchara en (sobre) la mesa

the spoon on the table

la cuchara que está en (sobre) la mesa

the spoon that is on the table

(27)は所有されるものが主語で, 所有者が属詞の関係にある場合である.

(27)a. そのペンは私のだ.

所有形容詞後置形 (mío, tuyo, suyo, nuestro, vuestro, suyo)を用いる.

La pluma es mía.

The pen is mine

b. そのペンは太郎のだ

所有者が代名詞ではなく, 普通名詞 (あるいは固有名詞) の場合は前置詞 de (=of) に導かれる.

La pluma es de Pedro

The pen is of Pedro (Pedro's)

c. 私のペン・太郎のペン

名詞修飾の所有形容詞は前置形(mi, tu, su, nuestro, vuestro, su)を用いる. また普通名詞 (固有名詞) では前置詞 de に導かれる.

mi pluma

my pen

la pluma de Pedro

the pen of Pedro (Pedro's)

(28a)は何かが生起するという意味の存在であろう.

(28)a. 昨日, 学校で火事があった

Ayer hubo (ocurrió) un incendio en la escuela.

Yesterday there was a fire at school

⁶ 「前置詞」『中級スペイン文法』高垣(1995:153)参照.

b. 私は明日用事があります。

Mañana tengo algo que hacer.

Tomorrow I have something to do.

日本語では存在であるが、私が行うことを目的語とする所有表現を用いる。⁷

(29) (この世には) お化けなんていない

(En este mundo) no hay fantasmas.

In this world there are no ghosts

*Este mundo no tiene fantasmas.

This world has no ghosts

場所名詞 *este mundo* を主語として所有の動詞 *tener* をとることは難しい。

(30) (そこには) 英語を話す人もいるが、話さない人もいる。

Allí hay personas que hablan inglés y otras que no lo hablan.

There are people who speak English and others who do not speak it

Allí hay unos que hablan inglés y otros que no.

There are some who speak English and others who do not.

存在表現 *hay* を用いる。

(31) 私より英語ができる人は (ほかに/もっと) います。

Hay {otros / más} que hablan inglés mejor que yo.

There are {others / more} who speak English better than I

存在表現 *hay* を用いる。

(32) ちょっとあなたにお願いがあります。

Tengo un favor que pedirte.

I have a favor to ask of you

tener を用いる。 *pedir un favor* (to ask a favor) を単独で用いるのは不十分のようである。

?Te pido un favor.⁸

I ask you a favor

⁷ *hay* を用いることができるだろうが (*hay algo que hacer*)、不定人称表現になるので誰が行う行為か不明になる。

⁸ ただし、“*te pido un favor y tú nunca tienes tiempo*” 「いつも君にお願いごとをすると時間がないうんだ」のように文脈が整うことが条件である。

(33)は連体修飾をともなう名詞表現である。

(33) a. 冬の雨

la lluvia de invierno

the rain of winter

冬特有の雨 (propia de esa época) の意。

la lluvia en invierno

the rain in winter

冬の間に降る雨ということで時が強調される(durante el invierno; énfasis en el tiempo).

b. 東京の家

*la casa en Tokio

the house in Tokyo

la casa de Tokio

the house of Tokyo

(26b)で見たのと同じく en による場所前置詞を連体修飾句として用いるのは難しい。一方、de を用いると、他にも家があって、それと対比させて東京の家というような解釈になる。

(34)では動詞の名詞化形とその動作を行う主体の連体修飾関係が問題になる。スペイン語では動作の主体は前置詞 de により後置される。(a)では所有形容詞 su による)。

(34) a. 彼の泳ぎ

su modo de nadar

his way of swimming

*su natación

his swimming

*su nadar

his swimming

名詞 natación 「泳ぎ、水泳」も不定形 nadar 「泳ぐこと」も容認されない。modo 「方法、様式」を伴う場合のみが許容される。

b. 犬の鳴き声

(el) ladrido de un perro

the bark of a dog

(el) ladrar de un perro

the barking of a dog

上の nadar 「泳ぐ」と異なり、ladrar 「鳴く」の場合は名詞形 ladrido 「鳴き声」(ただし、動態性は損なわれている)であれ、不定形 ladrar であれ容認される。

c. 火山の爆発

(la) erupción de un volcán

the eruption of a volcano

d. 車の運転

(la) conducción de un coche⁹

the driving of a car

*(el) conducir de un coche

the driving of a car

動詞由来名詞 *conducción* 「運転」は容認されるが、不定形の *conducir* は不可となる。
このように動詞の名詞化形、および動詞の不定形は動詞により一定しないので個々の
意味を考慮し、その可否を考えていく必要がある。

(35)a. X さんのお母さん

la madre de X

the mother of X (X's)

b. 机の横に／机の前に／*机に（来て！）

¡Ven {al lado de / delante de / a} la mesa!

Come {by / in front of / to} the table!

日本語と異なり、着点を表す前置詞 *a* を用いる表現はスペイン語では問題ない。

c. あの人の次

después de esa persona

after that person

以下、「の」のさまざまな用法が続く。

(36)a. バラの花びら

los pétalos de una rosa

the petals of a rose

部分を表している。

b. 果物のナイフ

cuchillo {para / ??de} frutas

knife {for / of} fruits

ナイフの用途を表している。用途の前置詞 *para* のみが許容される。

⁹ ただし、そのままでは情報は不十分で“La conducción de un coche como este es un palcer の
ような文中に入れてはじめて理解できる。

c. 紙の飛行機

avión de papel

plane of paper

材料を表す.

d. チューリップの絵

cuadro de unos tulipanes

painting of some tulips

絵の対象, テーマを表す.

e. 花の匂い

olor {a / de} flores

smell of flowers

olor a~ 「~の匂い」は決まった結びつきで用いられる (<動詞 oler a~ 「~の匂いがする」>).

f. 英文の手紙

cartas en inglés

letters in English

g. 日本語の先生

profesor de japonés

teacher of Japanese

h. 井戸の水

agua {de / del} pozo

water {of / of the} well

無冠詞の場合は井戸水, 定冠詞を伴う場合は特定の井戸の水を表す.

i. 雨の日

día de lluvia

day of rain

これらの多くの例で前置詞 **de** が使用される点では日本語の「の」との類似性があるだろう.¹⁰

(37)は2つの名詞の同格表現であるが, 前置詞を介さない.

(37)a. 妹の花子

¹⁰ 高垣(1990)「スペイン語前置詞句の連体機能について—スペイン語の”de”と日本語の「の」を中心に—」京都産業大学論集 19-3, 外国語と外国文学系列 17, 158-197.

mi hermana Hanako

my sister Hanako

b. 社長の田中さん

el presidente Tanaka

the president Tanaka

(38) となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって.)

los neumáticos del coche del vecino de al lado (se le pincharon de repente ayer)

the tires of the car of the neighbor next-door

?los neumáticos del coche del padre del amigo de la casa de al lado

the tires of the car of the father of the friend of the house next-door

ともに de で修飾を繰り返す。日本語とは要素の修飾関係が逆で、補足部である修飾句が主要部に後続する。2番目の訳例は「理論的にはありうるが、不自然」(teóricamente sí, pero forzada)であるという母語話者の判断が見られた。de 句の繰り返しは上の訳例のように3回ぐらいまでが許容範囲といえるのであろう。